# 平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| （整理番号）<br>415<br>※記入不要 | 提案機関名 | 神奈川県山林種苗協同組合 |
|---|---|---|

**要望問題**　林木育種及び種苗生産技術の研究開発について

**要望問題の内容**　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

花粉症など環境対策並びに神奈川の地域に適した優良な山行苗木の育成対策のため今日的な諸課題の解決に向けた試験研究の取り組みを要望します。

①花粉対策ヒノキの選抜と育成技術
花粉の少ないヒノキの早期選抜と苗木育成技術の実証試験をお願いしたい。

②花粉対策スギの種子採取量の確保技術開発
花粉の少ないスギは、現行の開花促進処理を行っても採種量が極めて少ないので、採種技術の向上を図ってほしい。

③ヒノキ２年生苗木の山出しについて
ヒノキ２年生苗木の山出しの可否について試験研究をお願いしたい。

④広葉樹採種園の造成について
優良種子の確保のため、広葉樹の採種園を造成していただきたい。

| | |
|---|---|
| 解決希望年限 | ①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内 |
| 研究対応区分 | [①研究所対応]　②委託研究　③共同研究　④その他 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ）<br>⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ）<br>[⑨自然環境保全センター] |

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| 回答機関名 | 自然環境保全センター研究部 |
|---|---|

部　　署：森林資源グループ

| 対応区分 | ①実施　[②実施中]　③継続検討　[④実施済]　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可 |
|---|---|

**試験研究課題名**　（①、②、④の場合）
花粉の少ないスギ品種の選抜(H9-16)、特定林木育種事業、水源林広葉樹苗木育成事業

**対応の内容等**

①花粉対策ヒノキの選抜と育成技術
花粉の少ないヒノキは全国に先駆けて 14 年に５品種を選抜を行い、現在、特定林木育種事業における種子生産事業により苗木生産の準備を行っています。今後本格的な生産に向けて、引き続き選抜を行っていく予定です。

②花粉対策スギの種子採取量の確保技術開発
昨年度は、採種園の断幹作業を行ったこともあり、種子の生産量が大幅に低下しました。ジベレリン処理濃度を上げれば着花量を増やすことは可能ですが、一時的なことであり、現行の処理方法で継続していきたいと考えております。

③ヒノキ２年生苗木の山出しについて
H8 に秦野市菩提に２年出しにより植栽を実施しており、下刈りの誤伐による被害がやや多いものの、その後の成長は問題がなく可能であると考えます。

④広葉樹採種園の造成について
水源林広葉樹苗木育成事業により、今年度より開始する予定です。

| 解決予定年限 | ①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内 |
|---|---|

**備　考**